

# 砂川小学校 学校経営方針

令和8年4月1日  
京都市立砂川小学校  
校長 伊藤 卓也

## < 学校教育目標 >

「絆」を大切にし、自らの未来を創造する 砂川の子

### ◇ 目指す学校像 ◇

「『明日も行きたい』が溢れる学校」

- ・ 子どもの豊かな学びと健やかな成長に向けて、家庭・地域との「絆」の下、信頼される学校
- ・ 全ての人の願いや思いを共有し、実現に向けて共に歩む、笑顔と温かさにあふれる学校
- ・ 健康と安心・安全を基盤に、安らぎと規律の調和がとれた、毎日を心地よく過ごせる学校

### ◇ 目指す子ども像 ◇

育成を目指す  
資質・能力

「自ら学び、考え、チャレンジする子ども」

(意欲)  
(主体性)

自ら学ぶ意欲をもち、課題を主体的に捉え、考えを深めながら解決に向かって行動できる子ども

子どもたちが学ぶ意欲を高め、自ら課題を見だし、主体的に考え、解決に向かって行動する力を育むことを通して、生涯にわたり学び続けるための資質・能力の育成を目指します。

**徳** 思いやりの心をもち、仲間とともに伸びようとする自律した砂川の子 (豊かな心)

**知** 夢に向かって自ら学び、他者と協働しながら高め合う砂川の子 (確かな学力)

**体** たくましい心と体を育み、「いのち」を大切にする砂川の子 (健やかな体)

### ◇ 目指す教職員像 ◇

「一人一人が主役となり、チームで子どもの未来を創る教職員」

育成を目指す  
資質・能力

- ① 子どもの将来を見据え、確かな「生きる力」を育成する力 (授業力・生徒指導力)
  - ・ 子どものよさや可能性を的確に見取り、一人一人の成長のために粘り強く関わる教職員
  - ・ 育成すべき資質・能力を常に意識し、主体的な学びを通して、子どもが学ぶ喜びを実感できる教育活動を実現する教職員
- ② チームとして学校を支える高い組織力 (コミュニケーション力・チーム力)
  - ・ 自らの個性や専門性を生かし、協働しながら主体的に学校運営に参画する教職員
  - ・ 謙虚な姿勢を忘れず、子ども・保護者・地域に寄り添い、丁寧かつ迅速に組織的な課題解決に向かう教職員